

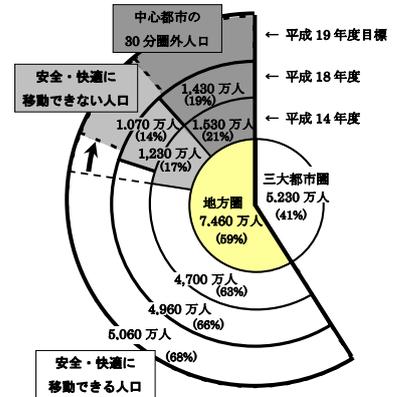
安全かつ快適な移動を実現するための道路整備

～市町村合併支援道路事業など地域内の拠点等を効率的に連絡する道路整備により、日常生活の中心となる都市まで30分以内で安全かつ快適に走行できる人口（安定到達人口）が約80万人増加～

(1) 指標の動向

■ 日常生活に必要な移動の確保

日常生活上、都市機能を楽しむための、中心となる都市への移動ルートにおけるすれ違いが困難な区間の存在は、日常的な移動の安全性や快適性を損ない、地方部の生活に影響を与えている。このため、地域内の拠点などを効率的に連絡する道路整備が必要となっている。



【中心となる都市まで安全・快適に移動できる人口の状況】

(2) 達成度報告と業績計画

■ 安定到達率は約66%に増加

平成18年度の安定到達率（日常活動圏人口に対する安定到達人口割合）は、目標の67%に対して66%にとどまった。これは、厳しい財政状況等により、地方の事業量が減少し、目標達成に必要な路線の供用に一部遅れが生じたためと考えられる。

■ 目標達成に向け、効率的な事業実施を図る

平成19年度も引き続き、1.5車線の道路整備の積極的な採用などによる効率的な事業や、市町村合併支援道路整備など地域内の効果的なネットワークの形成に寄与する事業を推進する。

【ブロック別の安定到達率の増加】

ブロック	日常活動圏人口(万人)	平成17年度		平成18年度		増加	
		安定到達人口(万人)	安定到達率	安定到達人口(万人)	安定到達率	安定到達人口(万人)	安定到達率
北海道	567	419	74.0%	421	74.4%	2	0.4%
東北	981	637	64.9%	653	66.5%	16	1.6%
北陸	471	309	65.7%	313	66.5%	4	0.8%
関東	1,396	860	61.6%	879	63.0%	19	1.3%
中部	851	537	63.2%	545	64.0%	7	0.9%
近畿	598	390	65.1%	398	66.5%	8	1.4%
中国	767	468	61.0%	473	61.6%	5	0.7%
四国	412	266	64.6%	274	66.5%	8	1.9%
九州	1,305	910	69.8%	920	70.5%	10	0.8%
沖縄	119	82	69.3%	83	69.7%	1	0.4%
合計	7,467	4,879	65.3%	4,959	66.4%	80	1.1%

(3) 5カ年の達成見込みについて

■ 最終年度の目標は達成の見込み

安定到達率の伸びは、増加しつつあり、平成19年度には目標値（68%）を達成する見込みである。

少子高齢化及び人口減少が進展し、地域の活力低下などが懸念されているため、平成20年度以降も、安全かつ快適な移動を実現するための道路整備を推進する。

H14実績	H17実績	H18実績	H18目標	H19見込み	H19目標
63%	65%	66%	67%	68%	68%

平成18年度の施策の事例（長野県・県道佐久小諸線）

課題：幅員狭小のため、大型車と乗用車の交互通行が困難であり、渋滞発生箇所となっていた。

整備効果：道路の拡幅により、大型車を含めた円滑な交通が確保された。



整備前の状況



整備後の状況



担当：道路局 地方道・環境課